

6 計画の基本方針及び基本目標

(1)基本方針

美唄市の公共交通は、JR や地域間幹線系統により都市間の移動が確保されているとともに、これら広域交通と美唄駅を接続する形で、市内の居住地と公共施設・商業施設・医療施設等の生活関連施設を結ぶ路線バスや乗合タクシーが運行しており、きめ細かな公共交通サービスを実現しています。

一方、人口減少や少子高齢化に伴う通勤・通学における公共交通利用者の減少や、運転手不足、財政のひっ迫状況から、市内の公共交通をこのまま維持することが困難になってきており、これまで以上に利便性が高く効率的な公共交通体系の充実が必要です。

特に市街地では市民バス東線と南美唄線を運行するものの、バス路線の重複状況や多数の系統によりバス路線が複雑化する一方で、利用者からは増便を求められていることから、分かりやすく利用したい時に利用できる高い利便性を有するとともに、バス路線が重複しない効率的な公共交通の運行が必要です。

また郊外部では乗合タクシーと市民バス西線を運行するものの、公共交通空白地域の解消について、交通事業者等の状況を踏まえながら取り組むことで、市民の生活交通を持続的に確保していくことが必要です。

これらの状況を踏まえて、今後の美唄市における地域公共交通の基本方針としては、以下のとおり設定することにより、市民の生活の足を確保する公共交通体系を構築します。

交通資源の有効活用による地域特性に応じた

持続可能な公共交通の実現

(2) 地域公共交通の将来像

地域公共交通の将来像は、機能分類の観点から性格・役割を明確化することにより、以下のとおり整理します。なお、地域間幹線系統の方向性については、北海道で検討が進められる広域的な公共交通と整合を図る必要があるため、別途協議により継続的に検討します。

①現状

表 8 公共交通の機能分類と性格・役割

機能分類		性格・役割
広域幹線 ・JR函館本線		・広域的な公共交通軸 ・通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
地域内公共交通等	地域間幹線系統 ・岩見沢美唄線 ・滝川美唄線	・広域的な公共交通軸で、かつ市内交通の骨格を形成する路線 ・通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
	地域内フィーダー系統	
	【市街地等】 ・市民バス東線(表9参照) ・南美唄線(補助対象外)	・市街地及び市街地に隣接する生活拠点の生活交通を支える路線 ・通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
	【郊外部】 ・乗合タクシー(表10参照)	・郊外の生活拠点の生活交通路線 ・通院、買物などの目的に対応
	【郊外部】・市民バス西線 (一部スクールバス一般混乗)	・郊外の生活拠点の生活交通路線 ・通学、通院、買物などの目的に対応
	補完交通 ・タクシー	・通院、買物などの目的に対応
	その他の送迎交通	・コアビバイ無料送迎バス ・ゆ〜りん館無料送迎バス
交通結節点 ・JR美唄駅		・乗継ぎ拠点 (待合空間、乗継ぎ情報提供)

表 9 市民バス東線の系統

名称	系統	経由地	回り順
東明分団循環線	第1号	いなほ経由	旭通り先回り
	第3号	いなほ・高校経由	同上
	第4号	総合体育館・いなほ・国道経由	同上
アルテピアッツァ循環線	第2号	国道経由	東明通り先回り
	第5号	総合体育館・国道・高校経由	同上
ゆ〜りん館循環線	第6号	いなほ・総合体育館経由	東明通り先回り
	第6号	高校・国道経由	同上
	第7号	総合体育館・国道経由	旭通り先回り
	第7号	いなほ・総合体育館経由	同上
	第8号	高校・いなほ経由	同上
	第9号	総合体育館・国道経由	東明通り先回り
	第10号	国道経由	同上
	第11号	高校・いなほ経由	同上
	第12号	総合体育館・いなほ経由	旭通り先回り
	第13号	いなほ経由	東明通り先回り

表 10 郊外部 乗合タクシー

・盤の沢・我路方面 ・日東・茶志内方面 ・中村・沼の内方面 ・西美唄・開発方面

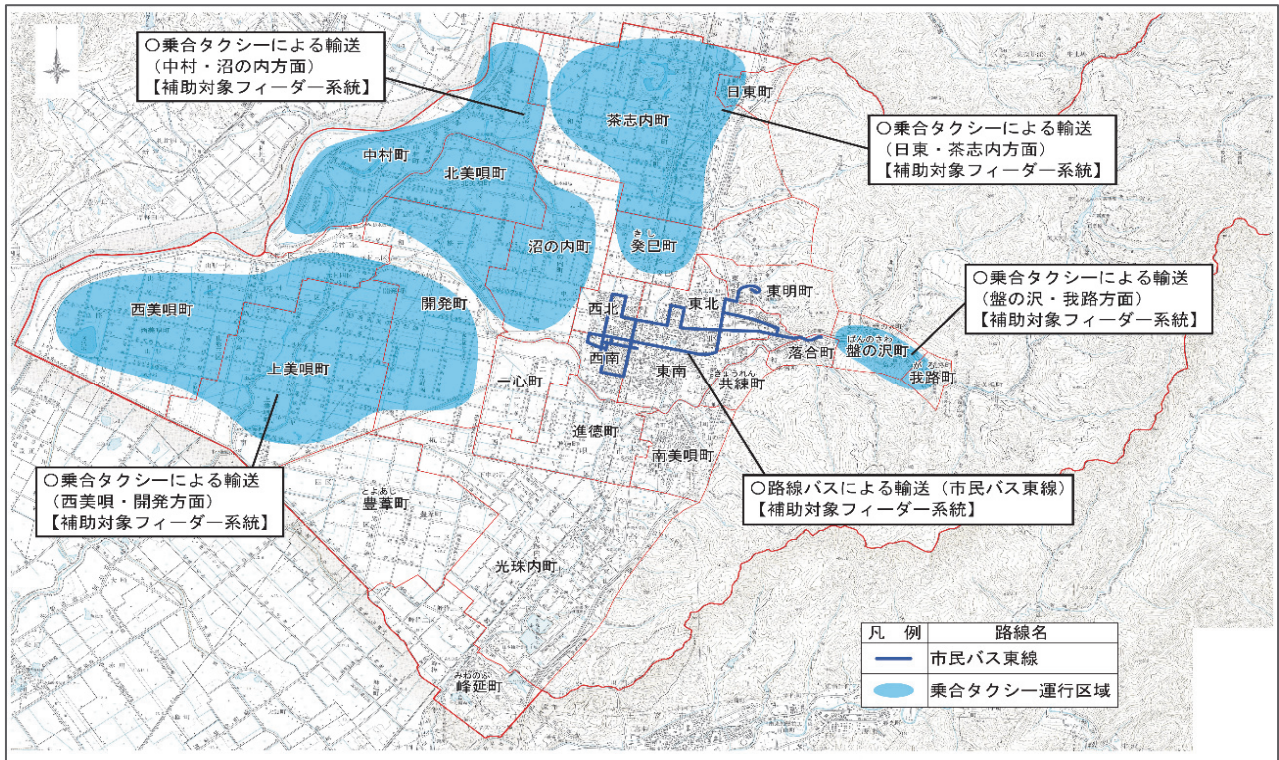


図 41 現状の地域内フィーダー系統

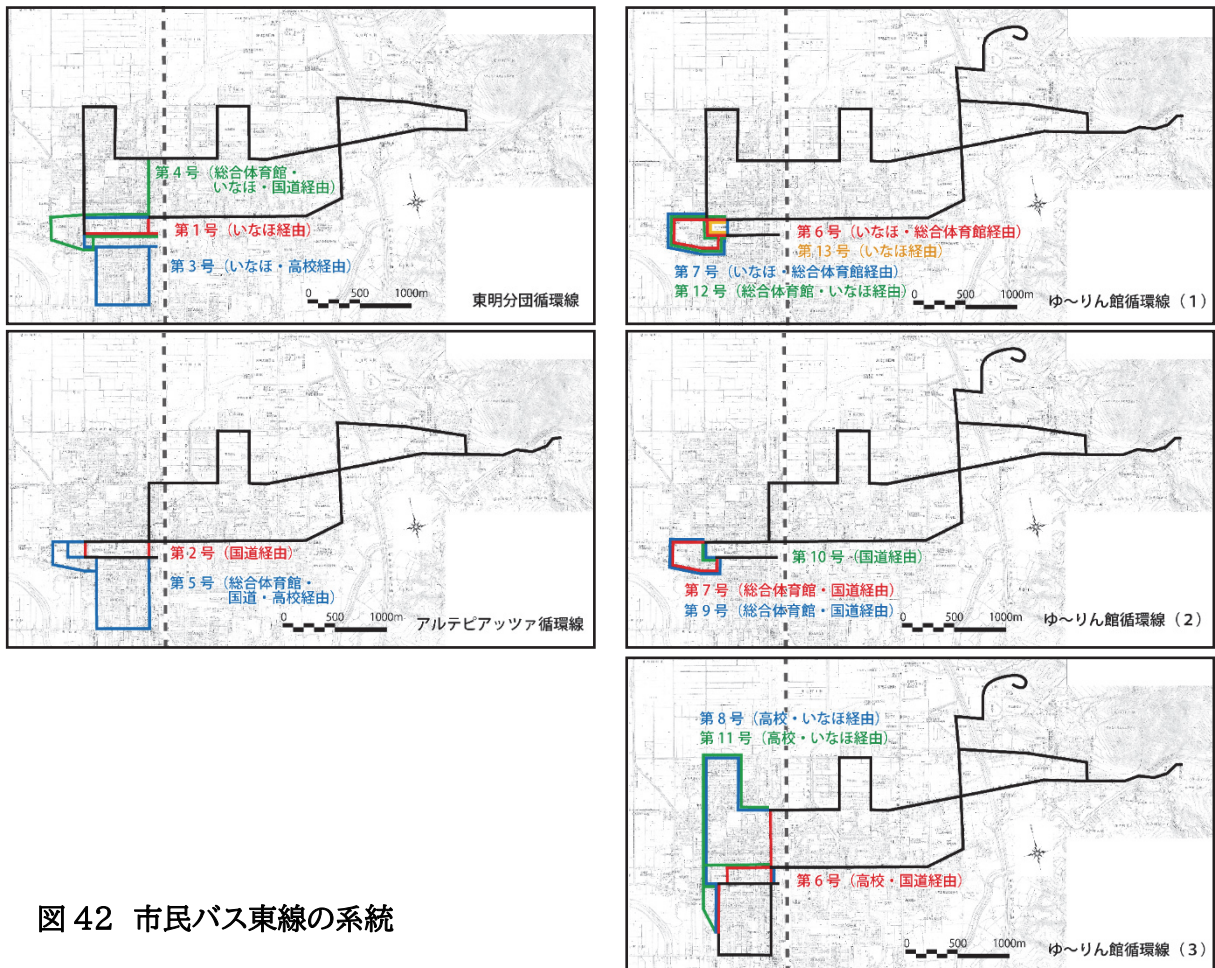


図 42 市民バス東線の系統

②再編後

表 11 公共交通の機能分類と性格・役割

機能分類		性格・役割
広域幹線 ・JR函館本線		・広域的な公共交通軸 ・通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
地域内公共交通等	地域間幹線系統 ・岩見沢美唄線 ・滝川美唄線	・広域的な公共交通軸で、かつ市内交通の骨格を形成する路線 ・通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
	地域内フィーダー系統	
	【市街地等】 ・デマンドバス	・市街地及び市街地に隣接する生活拠点の生活交通を支える路線 ・通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
	【郊外部】 ・乗合タクシー・デマンドバス	・郊外の生活拠点の生活交通路線 ・通院、買物などの目的に対応
	【郊外部】・市民バス西線 (一部スクールバス一般混乗)	・郊外の生活拠点の生活交通路線 ・通学、通院、買物などの目的に対応
	補完交通 ・タクシー その他の送迎交通	・通院、買物などの目的に対応 ・コアビバイ無料送迎バス ・ゆ〜りん館無料送迎バス
交通結節点 ・JR美唄駅		・乗継ぎ拠点 (待合空間、乗継ぎ情報提供)

表 12 郊外部 乗合タクシー・デマンドバス

・落合・盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、西美唄・中村方面、光珠内・峰延・豊葦方面

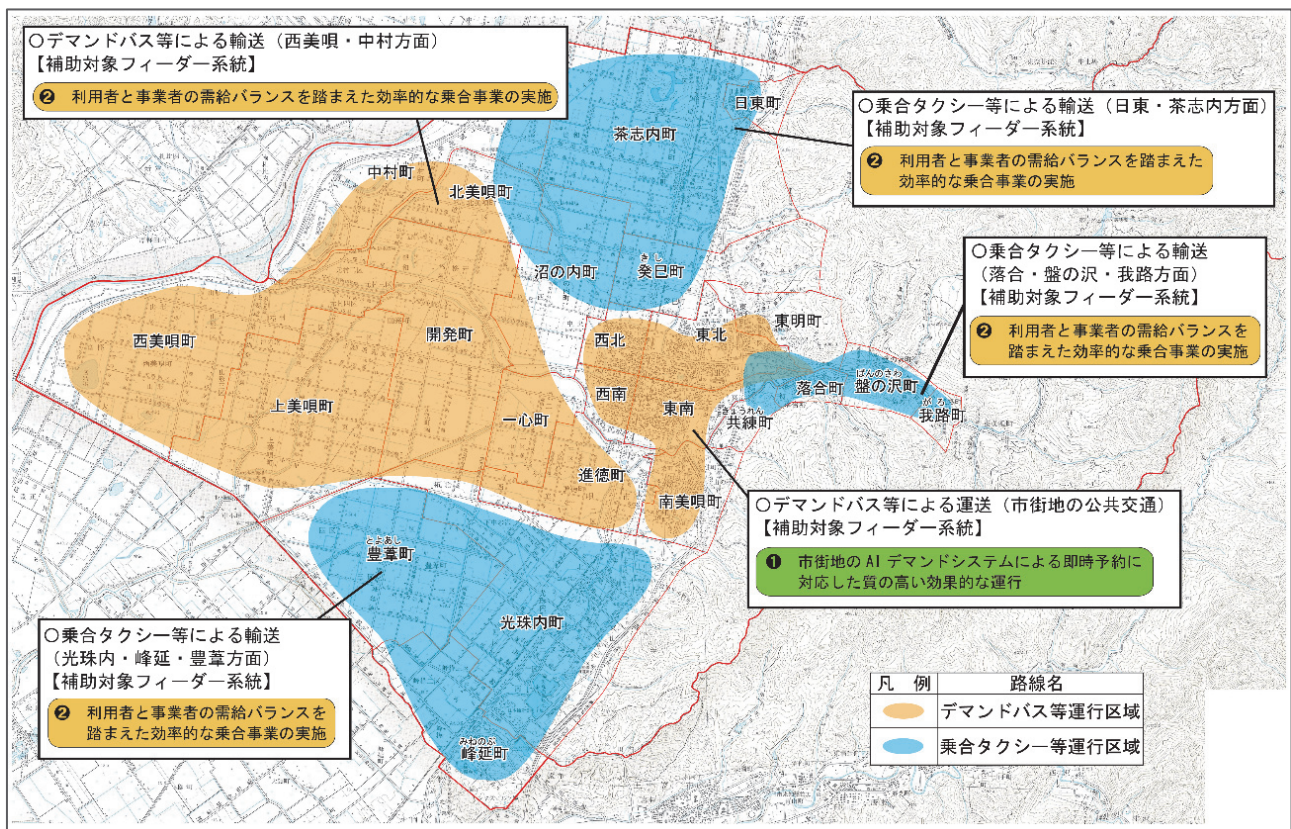


図 43 再編・拡大後の地域内フィーダー系統

(3)基本目標と施策メニュー

基本方針と公共交通の将来像から、まちづくりと連携した地域公共交通の基本目標を以下のとおり3つ設定します。

基本目標① 市街地の効率的な公共交通体系の実現

現状の市街地公共交通は、市民バス東線と南美唄線の運行により市民の生活の足を確保していますが、利用者の減少や多数の系統による複雑な運行経路及び増便への対応などの課題を有しており、これら課題を解決する利便性の高い効率的な運行を検討する必要があります。

このため、市民バス東線と南美唄線の運行範囲の一体化による運行の効率化と、AIデマンドシステムの導入を検討することで、利便性の向上を目指します。

なお、AIデマンドシステムにより以下の利便性向上と効率運行が期待できます。

<AIデマンドシステムにより期待できる効果(利用者視点)>

- ①来たバスがどこ行きなのか分からないといったことがなくなる
- ②バスが大きく迂回することがなくなる
- ③予約すると10分ぐらいでバスが来てくれる
- ④今よりもバス停を細かく配置できる
- ⑤空のバスを見かける機会が少なくなる

なお、AIデマンドシステムを用いることで、スマートフォンを用いたバスロケーションシステム等のICTサービスが付加されることとなります。

その他、電話による予約に対応するため、タクシー事業者の参画も含めて、具体的な運用方法について検討を進めます。

【施策メニュー】

- ①市街地公共交通の運行
- (現状)市民バス東線の運行
- (再編)市民バス東線と南美唄線の一体化によるAIデマンドの運行

基本目標② 郊外部における資源の有効活用による輸送支援

郊外部の公共交通は、市民バス西線（一部を除きスクールバスの一般混乗）とタクシー会社の交通事業者 3 社がエリアを分担する乗合タクシーを運行するものの、運転手不足により現状の維持が困難な状況となっています。また現状の維持が困難な状況の中で利用ニーズがある公共交通空白地域が存在する状況となっています。

そのため、現状の郊外公共交通の維持と公共交通空白地域の解消にあたっては、バス事業者の参画や人手不足に対応した曜日運行の検討などにより、将来における郊外公共交通の確保を目指します。

【施策メニュー】

②郊外公共交通の運行

（現 状）乗合タクシーの運行

盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、中村・沼の内方面、
西美唄・開発方面

（再編・拡大）デマンド交通の運行

落合・盤の沢・我路方面、日東・茶志内方面、
中村・西美唄方面、光珠内・峰延・豊葦方面

基本目標③ 地域で守り育てる公共交通への意識の醸成

公共交通の利用者は、人口減少や高齢社会における高齢者の運転継続などにより減少しており、今ある公共交通の維持が困難になると予想されます。

そのため、今後の運行を継続する上でも利用者を確保していく必要があることから、公共交通を地域で守り育てる意識を醸成することが必要であると考えられます。

【施策メニュー】

③北海道と連携による免許返納助成制度の導入

④分かりやすいバスマップや総合的な時刻表、AI デマンドバス等の利用方法などを掲載した広報紙の作成

⑤AIデマンドバス等の乗り方講座やモビリティマネジメントの実施

※AIデマンドバスの運行にあたっては、市民懇談会を開催して周知を図るとともに、システム開発者や運行事業者との協議の元で運用しやすいシステムに留意する

⑥市民との意見交換会の開催による地域主導の公共交通の実現